

会 議 録

会議の名称	令和4年度第8回枚方市立禁野小学校の新しい学校づくり協議会
開催日時	令和5年2月25日(土) 10時30分から11時10分まで
開催場所	禁野小学校図工室
出席者	<p>(会長) 奥野委員 (副会長) 森委員 (委員) 森田委員、新保委員、高橋委員、山下委員、中村委員 (事務局:新しい学校推進室) 畑中課長、萩森課長代理、石田係長、多田主任、廣瀬主任 (事務局:建築課) 津熊課長、水阪課長代理、澤田係長、福間主任 (前田組・浦辺設計共同企業体) (前田組) 尾崎設計部専任部長、山之内工事部長、杉本工事部 工事課長、馬場工事部所長 (浦辺設計) 西村代表取締役、前田一級建築士</p>
欠席者	なし
案 件 名	<ol style="list-style-type: none"> 禁野小学校の新校舎整備について <ul style="list-style-type: none"> 解体工事(旧高陵小学校)の工程について 新校舎の設計について その他 <ul style="list-style-type: none"> 禁野小学校統合後のアンケート実施について 他市小学校の視察について
提出された資料等の名称	(資料1)禁野小学校整備事業[旧高陵小学校解体工事] スケジュール概要 (資料2)禁野小学校整備事業2月・3月度月間工程表
協議・決定・報告事項	<ol style="list-style-type: none"> 解体工事(旧高陵小学校)の工程について 新校舎の設計について
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録等の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	0人
所管部署(事務局)	総合教育部 新しい学校推進室

協議内容

案件1. 禁野小学校の新校舎整備について

<前田組の説明>

【解体工事の工程について(資料1、2の主な部分の説明)】

- ・現在、体育館と管理棟西側、教室棟(5)の躯体解体が完了している状況である。
- ・作業を進める中で旧高陵小西側からの風が強い印象があり、東側 UR 住宅街への騒音や粉塵等の影響を最小限にする方策を検討した結果、校舎の一部を残したまま基礎解体に着手することにした(基礎解体を行う時期が早まった)。
- ・基礎解体工事着手前には、渚南町の住民の方々へお知らせ文を投函した。
- ・今後は、教室棟(5)基礎、管理棟西側基礎、管理棟東側躯体及び基礎、北側教室棟(1)(4)躯体及び基礎の解体に着手し、4月中旬には校舎全体の躯体及び基礎の解体が完了し、外構関係の撤去後、5月31日には解体作業がすべて完了予定。
- ・工事車両関係について、コンクリートガラ搬出車(10t)1日最大30台、鉄屑等搬出車1日最大5台、併せて1日最大35台は当初の予定から変更なし。
- ・工事車両の通行について中宮第三団地C地区自治会長へ現地説明を行い、了承を得た。
- ・開かれた現場の一環「見える化」として、工事現場4箇所(旧高陵小正門や高陵幼稚園、臨時駐輪場付近)にクリアフェンスを設ける予定(2月27日から工事)。
- ・旧高陵小解体工事が滞りなく進んでいるのも、協議会委員や近隣住民の皆さま方のご理解とご協力があったのもであり、建設部門を代表して感謝を申し上げたい。

<質疑・意見など>

(委) 工事現場は頻繁に見学しており、非常に安全・安心な工事を行っている印象。

「見える化」や旧高陵小法面からの風対策の取組みも良い。先週、進入路の信号手前でダンプカー1台が停車しているのを見た。停車するなら交差点の近くでない方がよい。

(委) 渚南町住民へのお知らせ投函はいつ行ったのか。

(前) 2月20日に行った。

(委) 3月22日から北側の校舎解体が始まるので、中宮第三団地C地区自治会長に相談した上で、北側校舎周辺にお住まいの方々にもお知らせを投函してほしい。

(委) 今後、夜間帯の工事は想定しているのか。

(前) 解体工事については夜間工事を想定していない。ただし建築工事はまだ基本設計の段階であり、図面が決まり各行政機関に確認しないと100%行わないとは言えない。

今後、建築工事の説明の場ではしっかり説明していきたい。

(委) 近隣には多くの住宅があり、自治会からも夜間工事はやめてほしい旨の意見が出ている。先日、枚方市駅前再開発でも夜間工事の事故があり、危険性もある。まずは夜間工事を行わない方法を模索し、夜間工事を行わなければならない事情が出てくれば、その理由を説明すべきである。ご検討をお願いしたい。

<浦辺設計の説明>

【新校舎の設計について(プロジェクターでの説明)】

- ・コミュニティルームとPTAルームの隔たりは可動間仕切りにし、一体での利用も可能にしている。また、カーテンを閉めればプライバシーにも配慮できる。
- ・禁野小における市と地域の災害備蓄品関係保有調査を行った結果、64.7 m³程の量がある。また、この中には地域のイベント物品も若干含まれている。
- ・新校舎の備蓄品倉庫の大きさは8.4m×5.4mの45 m²の予定であり(m³ではもう少し大きい)、この部屋にすべての備品等を入れるのは厳しいとご意見をいただいた。
- ・体育館アリーナ舞台下の収納台車には、通常、パイプ椅子やマット等が収納されているが、新たに両サイドへ災害用毛布を設置するための区分を増やす予定であり、これを除いた市と地域の防災備蓄品を備蓄品倉庫へ入れると約6%は余剰がある見込み。

・調整が必要だが、収納台車をもう少し整理すれば、市の防災備蓄品の一部を収納できるかもしれない。地域のイベント物品の収納についても、次回協議会でご報告したい。

<質疑・意見など>

(委) 仮に 100 人ほど避難してきた場合、受水槽の水は何日くらい使用できるのか自主防災会から話が出ていた。

(浦) 受水槽は 18 m³ (18,000 リットル) あり、災害時応急給水目標の飲料水 1 日約 3 リットル、トイレ 1 日約 48 リットルを考慮すると、100 人ならば概ね 3 日と半日くらい使用できる計算。ただし受水槽の水は、飲料として使えるのは季節にもよるが 2～3 日間、それ以上の期間になれば給水車が必要であることをご理解していただきたい。

(委) 期限を過ぎた受水槽の水は、基本的にトイレに使用するというだけでよいか。

(浦) 災害備蓄品の中にも飲料水が備えられている場合もある。受水槽の水はトイレ用とし、できる限り節約を心がけることで長く使用できるものとする。

(会) 解体工事における児童生徒や近隣住民の安全対策を引き続きお願いしたい。また、今後の工程や進捗状況等についても適宜情報提供をお願いしたい。

案件 2. その他について

<事務局の説明>

【禁野小学校統合後のアンケート実施について】

・学校統合に関する効果検証を行うため、禁野小の児童・保護者・教職員の方に学校統合後の様子等について、アンケートを 2 月 24 日から実施した。

・児童・保護者へは子供たちの学校生活の変化を中心に、教職員へは統合後の学校運営の様子等について、お伺いする。

・回答の回収は 3 月上旬を予定しており、結果が纏まり次第、本協議会でご報告したい。

【他市小学校の視察について】

・3 月 6 日、7 日に「岩手県 陸前高田市立 気仙小学校」と「宮城県 東松島市立 宮野森小学校」を視察する。

・視察内容は、学年ユニットのオープンスペースや多目的室、図書室や中庭等について児童が活用している様子や、施設の機能面において地域の方々の活用方法等を予定。

・参加者は前田組、浦辺設計、建築課、新しい学校推進室の合計 9 人。

※気仙小は禁野小校長も視察を検討

・3 月 3 日には浦辺設計が改築工事を手掛けた「兵庫県 西宮市立 安井小学校」にて、学年ユニットや学校間仕切りなど禁野小の設計に参照している部分の見学を予定。

・視察結果については、あらためて本協議会でご報告したい。

<質疑・意見など>

(委) 視察について、何か資料がないと口頭のみではわかりにくい。

(事) 資料を作成し、後日お知らせしたい。

(会) アンケートは実施後に報告をお願いしたい。また、アンケートの回答内容等は、今後学校統合を行う際には活用していただきたい。小学校の視察についても、新校舎の設計や完成後の学校運営等に役立てるようお願いしたい。

<その他会議全般質疑・意見など>

(委) 令和 5 年度も新しい学校づくり協議会は毎月開催する予定か。実施設計が終了した後は毎月開催する必要はないのでは。

(委) 基本設計はいつ終わるのか。

(浦) 5 月末を予定している。なお、実施設計はそこから更に 1 年間で予定している。

(委) 実施設計が終了するまではしっかり協議を行う必要もある。

(事) 協議案件や皆さまのご負担も踏まえた上で、次回協議会にはスケジュール案をお示

ししたい。

<次回の日程及び案件>

- ・開催日時：令和5年3月18日（土）14時～
- ・開催場所：禁野小学校管理棟2階（リモートで実施する場合除く）
- ・案件：「禁野小学校の新校舎整備」等を予定